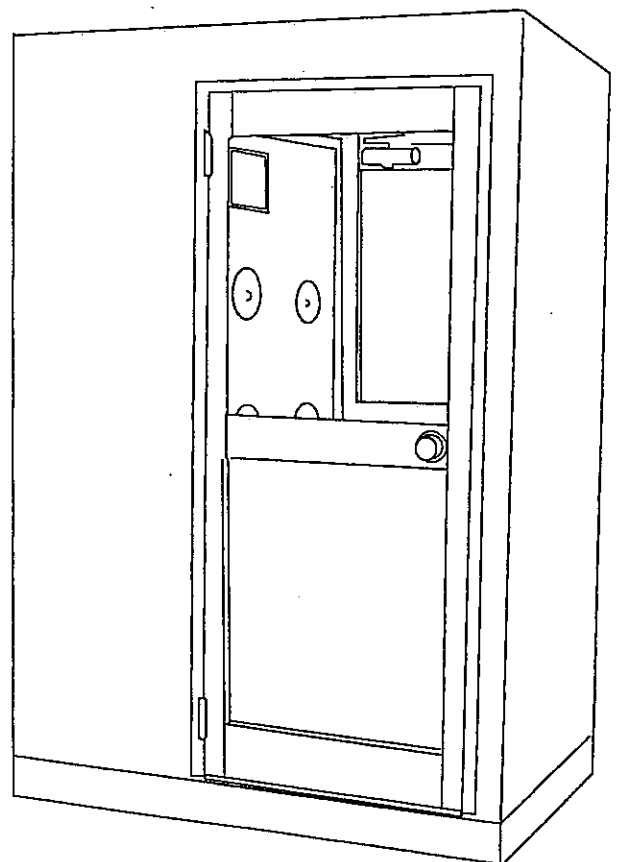


高濃度粉塵対応型 エアーシャワー

JS-30

取扱説明書



■ 重要安全情報

本書に記載した注意事項は次のように危険の程度や内容に応じて使い分けております。製品をお使いになる前に必ずお読みください。

⚠警告：誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠注意：誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- ・重傷とは、失明、けが、やけど（高温、低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が出るものおよび、治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- ・傷害とは治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などを指します。
- ・物的損害とは家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

・絵表示の例



爆発注意

△記号は警告や注意を示します。
具体的な警告や注意内容は△の中に絵で示します。



分解禁止

⊘記号は禁止の行為を示します。
具体的な禁止内容は⊘の中に絵で示します。



プラグを抜く

●記号は必ずやることで、強制する行為を示します。
具体的な強制内容は●の中に絵で示します。

■ はじめに

このたびは、エアーシャワーJS-30をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
JS-30は、エアーシャワー室内にジェット気流を発生させ、衣服などに付着した粉塵を払い落とします。

本機を安全に正しくご使用いただくために、この取扱説明書をお使いになる前に必ずお読みください。
また、お読みになった後は、いつでも使えるように大切に保管してください。

■下記の使用による事故、故障等は責任を負いかねますのでご了承ください。

- ・間違った操作方法をした場合。
- ・仕様を越えた操作および、不適切な管理方法をとっていた場合。
- ・改造を加えて使用していた場合。
- ・天災、火災等による場合。
- ・その他外部的理由による場合。

■お願い

お手数ですが、同封のご愛用者カードに所定事項を記入していただき、控えをご購入の販売店にお渡しください。アマノご愛用者リストに登録し、より良いアフターサービスが行えるようにしたいと存じます。

- 本製品および取扱説明書にご不明な点がございましたら、弊社支店・営業所にお問い合わせください。
- 製品改良のため、仕様・外形・記載事項が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 警告ラベルがはがれそうになったときは、弊社支店・営業所に連絡して新しいものと取り替えてください。

目次

1. 安全にお使いいただくために	1
設置上のご注意	2
2. 概要	3
3. 構造と各部の名称	4
4. 運転準備	5
電源の接続	5
圧縮空気の接続／エアーガンの接続	7
蛍光灯周波数の切り換え	8
5. 運転	9
運転モードの設定	10
運転モード1	11
運転モード2	12
運転モード3	13
緊急停止とリセット	14
6. 粉塵の回収	15
7. 保守	16
カートリッジフィルターの交換	16
HEPAフィルターの交換	18
払い落とし部の保守	19
8. 付録	20
仕様表	20
消耗品	21
配線図	22
こんなときには	23
アフターサービスと保証	24

1. 安全にお使いいただくために

本機をご使用になる前に以下の警告と注意をよくお読みいただき、理解してください。

⚠ 警告



爆発注意

- ・ 次の物質をエアーシャワー室内で払い落としをしをしたり、持ち込みをしないこと。
 - ・ 爆発性物質……………アルミニウム、マグネシウム、チタン、エポキシ、有機溶剤など。
 - ・ 引火性物質……………ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など。
 - ・ 粘着性物質……………水溶性ミスト、オイルミストなど。
 - ・ その他……………水、油、薬品などの液体。たばこの吸いながら、灰など。
- 引火、爆発のおそれがあります。



爆発注意

- ・ 引火性、爆発性、腐食性物質の霧・煙（ヒューム）・ガスが滞留しているところや、これらの付近で使用しないこと。
- 引火、爆発のおそれがあります。



定格電圧外禁止

- ・ 製品に表示した電源電圧以外の電圧で使用しないこと。
- 火災、感電のおそれがあります。



濡れた手禁止

- ・ 濡れた手で電源を接続、取りはずしをしないこと。
- 感電のおそれがあります。



禁止

- ・ 電源コードを傷つけたり、破損しないこと。
- また、重いものを載せたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災、感電のおそれがあります。



分解禁止

- ・ この機器を改造しないこと。
- 事故、火災、感電のおそれがあります。



アースを接続

- ・ アースを接続すること。
- アースを接続しないで漏電した場合は、火災、感電のおそれがあり、また静電気等で機器の故障及び誤作動の要因につながります。



行動指示

- ・ 内部で火災や粉塵爆発が発生した場合は、以下の行動をとること。
 - ・ ただちに電源を切ること。
 - ・ 集塵物に適した消火剤を使用すること。
 - ・ 鎮火し、内部温度が常温に下がるまで扉を開けないこと。
- 守らない場合は二次爆発のおそれがあります。



作業指示

- ・ 集塵機の内外面・配管内に粉塵が堆積しないよう定期的に清掃すること。
- 守らない場合、火災のおそれがあります。

⚠注意



注意

- ・点検やフィルター及び部品の交換の際は、手袋を使用のこと。
けがのおそれがあります。



床をふさぐな

- ・グレーチング（床のスノコ）をふさいだまま運転しないこと。
故障の原因となります。



電源を切る

- ・運転中に異音、発煙、異常振動、過熱、異臭が発生した場合は、ただちに本機電源供給元を切ること。
そのまま使用すると故障、感電、火災のおそれがあります。



電源を切る

- ・運転中にモーターが停止したときは、ただちに本機電源供給元を切ること。
感電のおそれがあります。



電源を切る

- ・点検、メンテナンスをするときは、必ず本機電源供給元とブレーカーを切ること。
感電のおそれがあります。



行動指示

- ・保護具（防塵マスク・防塵メガネ）を着用して運転をすること。
健康を害するおそれがあります。

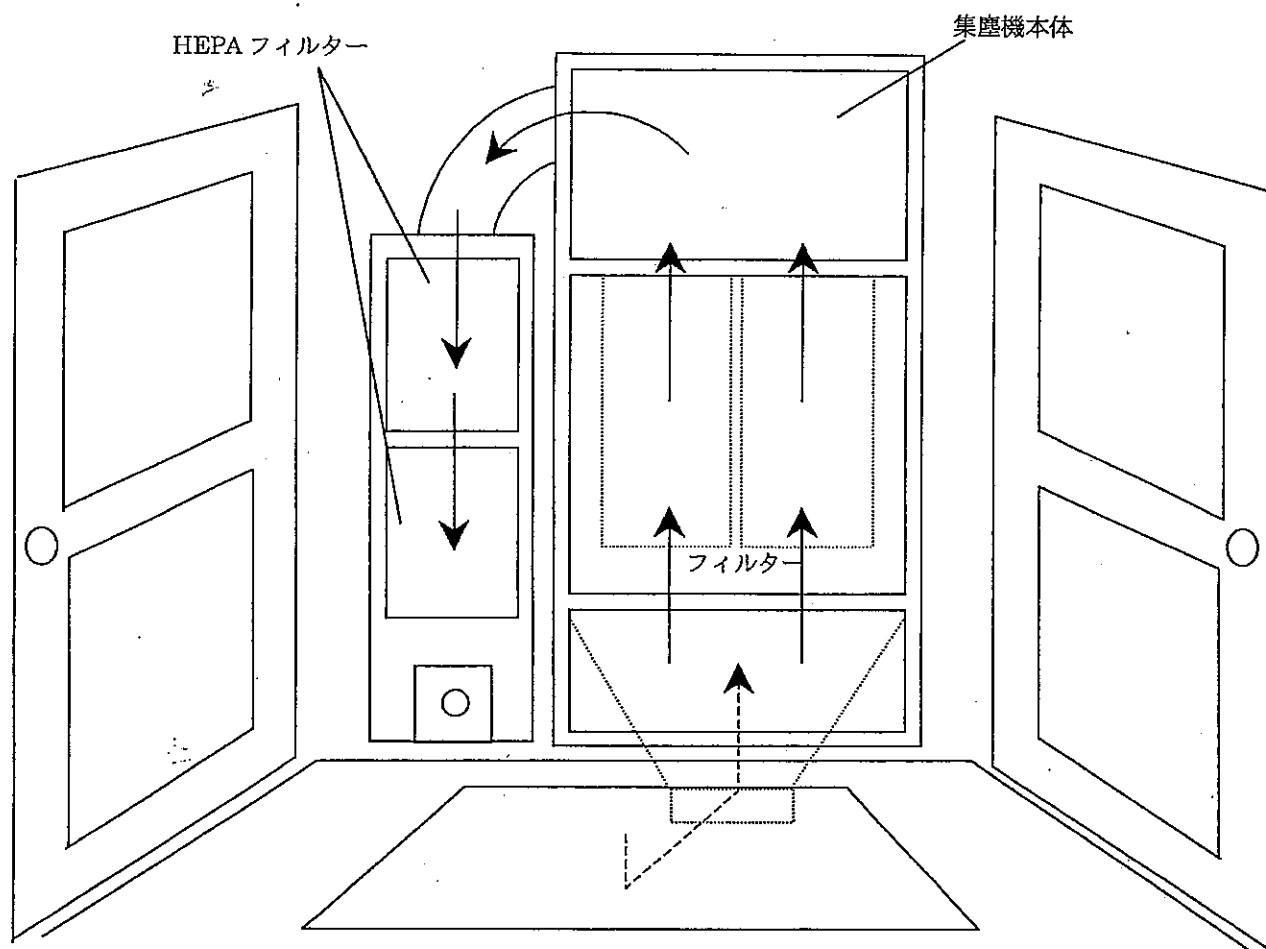
◆設置上のご注意

次の条件を守って設置してください。守らない場合は製品が故障したり、性能が発揮できなくなります。

- ・屋内の直接雨露のかからない場所で水平に設置してください。
- ・強い振動や衝撃を受けないところに設置してください。
- ・製品重量を考慮して十分な設置面強度を確保してください。
- ・圧縮空気はエアーフィルターを通して本機に供給してください。圧縮空気の圧力は 0.5～0.7MP a に調整してください。
- ・感電防止のため、電源コードのアース線は必ずアースに接続してください。アースは※『D種接地工事』の条件を満たしてください。
- ・本機の運搬は、クレーン・フォークリフトなどの有資格者がおこなってください。

※D種接地工事とは、接地抵抗値 100Ω 以下の条件を満たすことです。

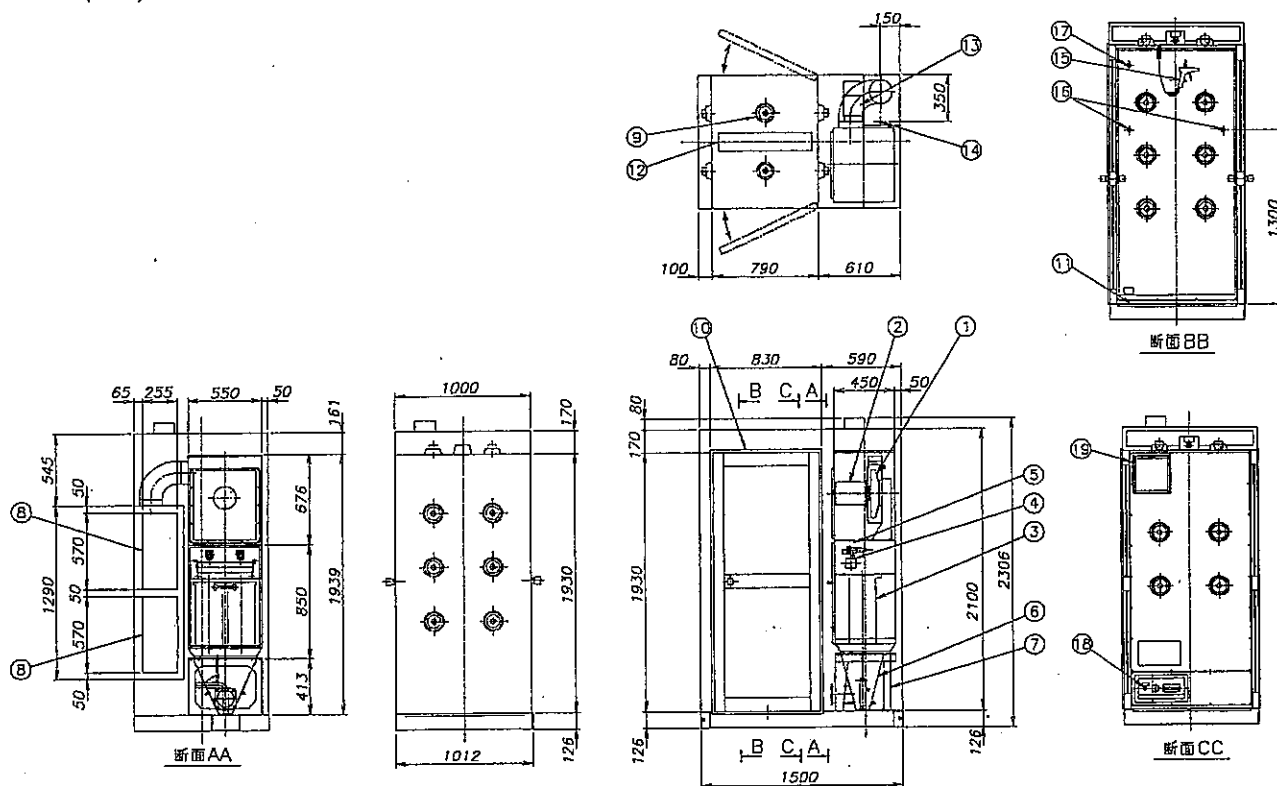
2. 概要



エアーシャワー室内で払い落した粉塵は、集塵機内部のフィルターでろ過された後、HEPAフィルターによってろ過されます。2段ろ過された清浄空気は、ジェットエアー吹出口より排出します。

3. 構造と各部の名称

(1) JS-30



単位 (mm)

番 号	名 称
1	ファン
2	モーター
3	カートリッジフィルター
4	ヘッダー
5	電磁弁付きダイヤフラム弁
6	ホッパー
7	吸引ダクト
8	HEPAフィルター
9	ジェットエアー吹出口
10	アルミドア
11	グレーチング
12	蛍光灯
13	電源端子BOX
14	圧縮空気供給口
15	エアーガン
16	「運転/停止」押しボタン

4. 運転準備

◆電源の接続

電源の接続をおこなう前に、以下の警告をお読みいただき理解してください。

⚠警告



定格電圧外禁止



濡れた手禁止



禁止



アースを接続

・製品に表示した電源電圧以外の電圧で使用しないこと。
火災、感電のおそれがあります。

・濡れた手で電源を接続、取りはずしをしないこと。
感電のおそれがあります。

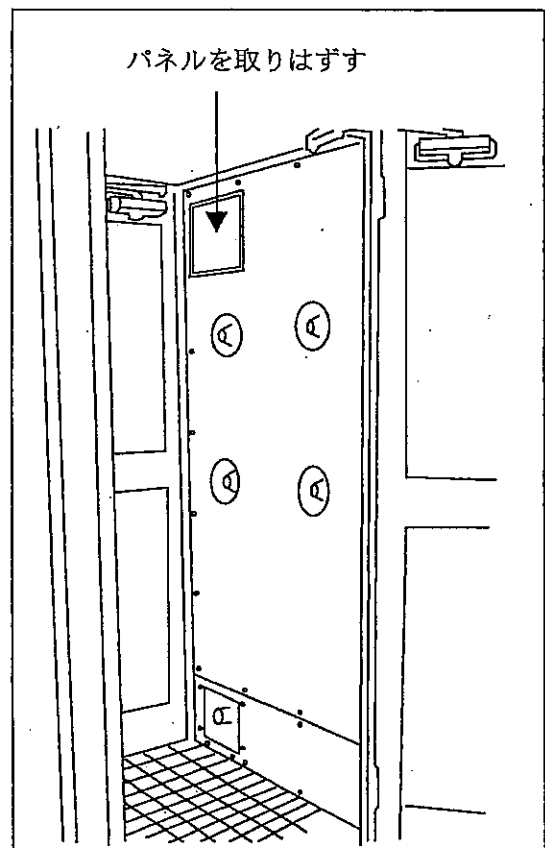
・電源コードを傷つけたり、破損しないこと。
また、重いものを載せたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、
火災、感電のおそれがあります。

・アースを接続すること。
アースを接続しないで漏電した場合は、火災、感電のおそれがあり、また静電気等で
機器の故障及び誤作動の要因につながります。

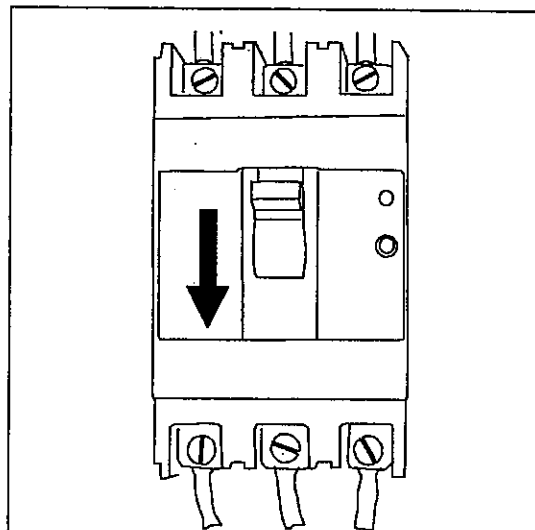
ご注意

- ・アース工事は『D種接地工事』の条件を満たしてください。既設のアースを利用する場合は、アース性能が十分あることを確認してください。

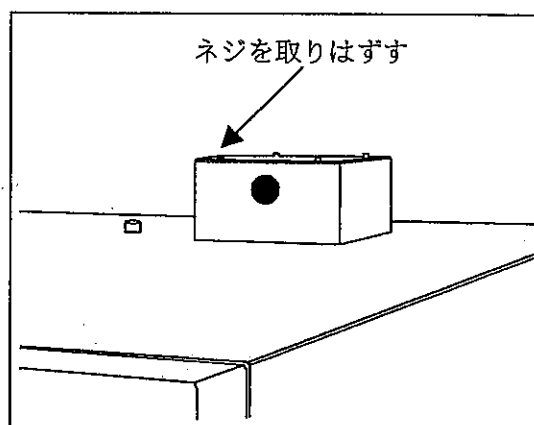
- ① 本機電源の仕様と、接続する電源の仕様が、一致していることを確認してください。
- ② 感電を防止するため、電源供給元の電源を切ってください。
- ③ エアーシャワー室内から、側面パネル上部にある点検口のネジをはずして、パネルを取りはずします。



- ④ 安全のため、本体内部のブレーカーを切ります。



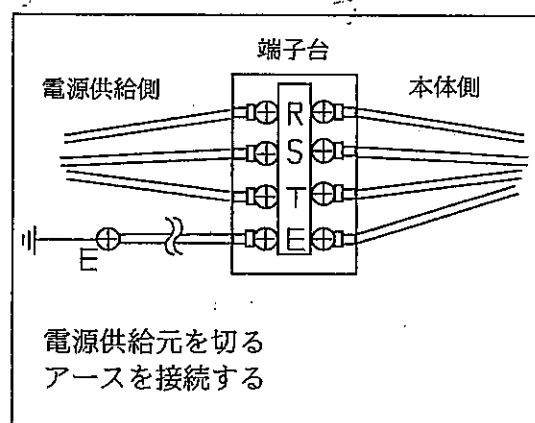
- ⑤ 本体上部の端子BOXのネジをはずして、蓋を開けてください。



- ⑥ アースを接続して、アースが『D種接地工事』の条件を満たして接地されていることを確認してください。

- ⑦ 電源コード（R・S・T）の端子を端子台にしっかりとネジ止めします。

- ⑧ 上記の①～⑦を再度確認し、ブレーカーと電源供給元の電源を入れます。



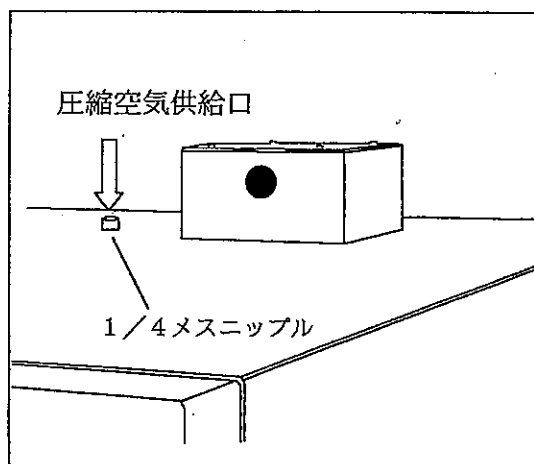
◆圧縮空気の接続／エアーガンの接続

(1) 圧縮空気の接続

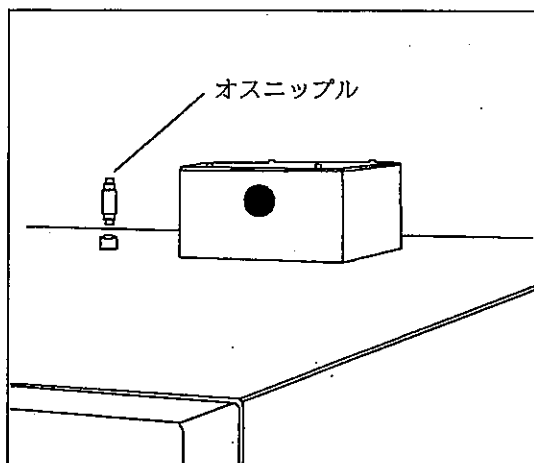
ご注意

- 圧縮空気は、エアーフィルターで除塵・除湿・除油してから供給してください。圧縮空気に配管内の鉄粉が混入したり、除湿・除油が十分でない場合、集塵機能に悪影響を及ぼします。
- 配管からエアー漏れがないようにしてください。漏れている場合は直ちにエアーを停止して、修理を行ってください。
- 圧縮空気の圧力は、0.5～0.7MPaで供給してください。

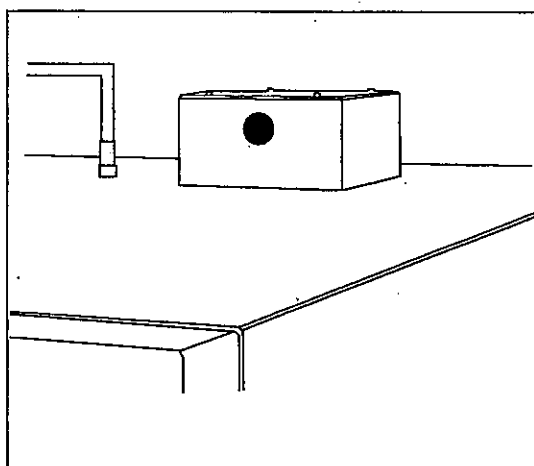
- ① 本機上部の圧縮空気供給口についている目隠しニップルを取りはずしてください。



- ② 圧縮空気供給口の1/4メスニップルにオスニップルを接続します。



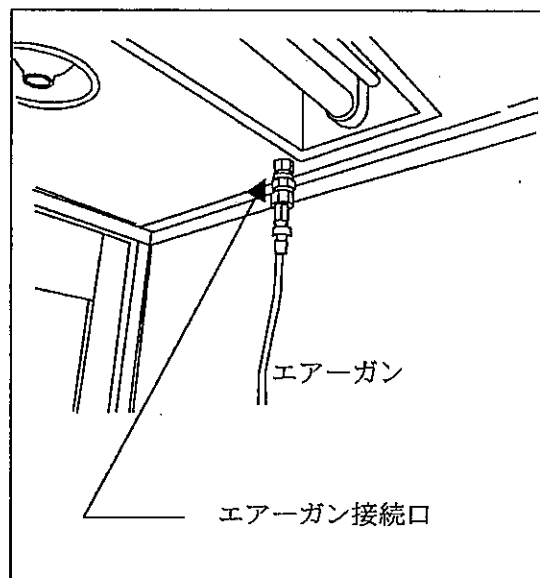
- ③ エアーフィルターに圧縮空気の配管を接続します。



- ④ 本機に0.5～0.7MPaの圧縮空気を供給します。

(2) エアーガンの接続

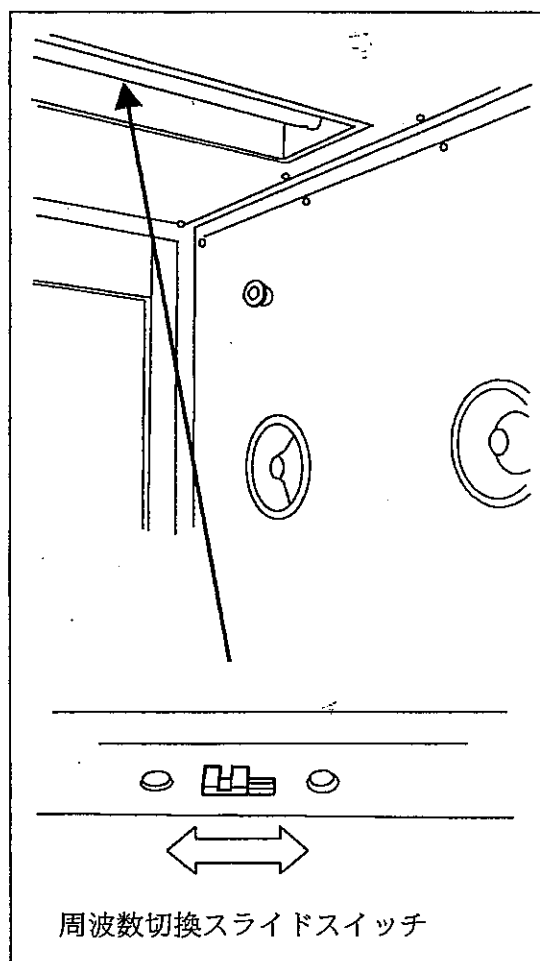
- ① 天井のエアーガン接続口に、エアーガンを接続します。工場出荷時はエアーガンを接続しています。



◆ 蛍光灯周波数の切り換え

蛍光灯の周波数は、お使いになる地域に合わせて、50Hz または 60Hz に設定をしてください。工場出荷時は 60Hz に設定しています。

- ① 蛍光灯のほぼ中央に、周波数切換スライドスイッチがあります。スライドスイッチで 50Hz / 60Hz に切り換えてください。



5. 運転

本機を運転する前に以下の警告・注意をお読みいただき理解してください。

⚠ 警告



爆発注意

- ・ 次の物質をエアーシャワー室内で払い落としをしたり、持ち込みをしないこと。
 - ・ 爆発性物質……………アルミニウム、マグネシウム、チタン、エポキシ、有機溶剤など。
 - ・ 引火性物質……………ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など。
 - ・ 粘着性物質……………水溶性ミスト、オイルミストなど。
 - ・ その他……………水、油、薬品などの液体。たばこの吸いがら、灰など。
- 引火、爆発のおそれがあります。



爆発注意

- ・ 引火性、爆発性、腐食性物質の霧・煙（ヒューム）・ガスが滞留しているところや、これらの付近で使用しないこと。
- 引火、爆発のおそれがあります。



濡れた手禁止

- ・ 濡れた手で電源を接続、取りはずしをしないこと。
- 感電のおそれがあります。



行動指示

- ・ 内部で火災や粉塵爆発が発生した場合は、以下の行動をとること。
 - ・ ただちに電源を切ること。
 - ・ 集塵物に適した消火剤を使用すること。
 - ・ 鎮火し、内部温度が常温に下がるまで扉を開けないこと。
- 守らない場合は二次爆発のおそれがあります。



作業指示

- ・ 集塵機の内外面・配管内に粉塵が堆積しないよう定期的に清掃すること。
- 守らない場合、火災のおそれがあります。

⚠ 注意



注意

- ・ 点検やフィルター及び部品の交換の際は、手袋を使用のこと。
- けがのおそれがあります。



床をふさぐな

- ・ グレーチング（床のスノコ）をふさいだまま運転しないこと。
- 故障の原因となります。



電源を切る

- ・ 運転中に異音、発煙、異常振動、過熱、異臭が発生した場合は、ただちに本機電源供給元を切ること。
- そのまま使用すると故障、感電、火災のおそれがあります。



電源を切る

- ・ 運転中にモーターが停止したときは、ただちに本機電源供給元を切ること。
- 感電のおそれがあります。



電源を切る

- ・ 点検、メンテナンスをするときは、必ず本機電源供給元とブレーカーを切ること。
- 感電のおそれがあります。



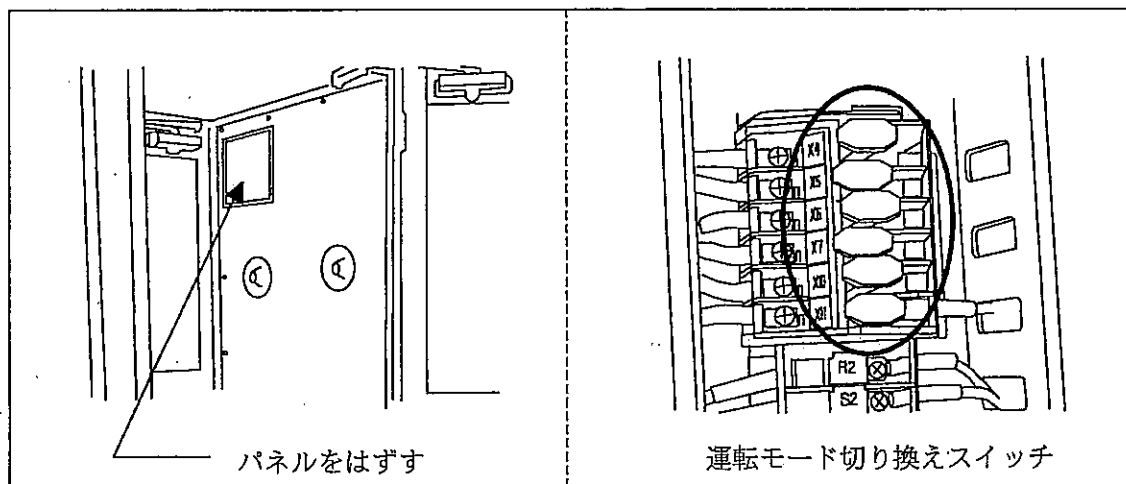
行動指示

- ・ 保護具（防塵マスク・防塵メガネ）を着用して運転すること。
- 健康を害するおそれがあります。

◆運転モードの設定

本機の側面の点検口パネルを開けると、ブレーカーの近くに、運転モード切り換えスイッチがついています。スイッチを切り換えて運転モードを選択してください。工場出荷時は、運転モード1に設定しています。

重要：運転モード設定時は、必ず電源を切ってください。電源を切らない限り、設定変更は無効になります。



運転モードの切り換え

	運転モード 1		運転モード 2		運転モード 3	
スイッチの設定	X4	引	X4	押	X4	引
	X5	押	X5	押	X5	引
	X6	引	X6	引	X6	押
	X7	押	X7	押	X7	押
	X10	引	X10	引	X10	引
	X11	引	X11	引	X11	引
シャワー室の照明	ドアの開閉による 自動点灯・自動消灯		ドアの開閉による 自動点灯・自動消灯		押しボタンによる操作	
運転/停止の操作	押しボタンによる操作		ドアの開閉による 自動運転・自動停止		押しボタンによる操作	

スイッチの設定は上記以外の設定にしないでください。

◆ 運転モード 1

(1) 運転・停止

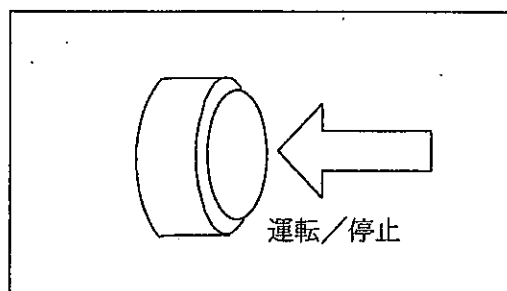
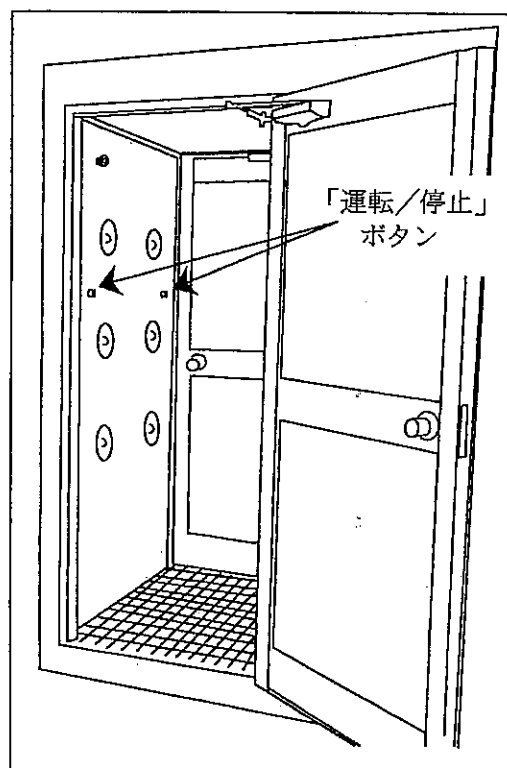
① ドアを開けると室内の蛍光灯が点灯します。エアーシャワー室に入り、ドアを閉めます。安全のため2人以上同時にエアーシャワー室に入らないでください。

② 「運転/停止」ボタンを押すと、ジェットエアー吹出口から空気が発生します。必要に応じてエアーガンを使い粉塵を払い落としてください。

③ 「運転/停止」ボタンを押すと停止します。このときシャワー室内に浮遊した粉塵を除去するために、本機はエアー吹き出し量を絞って3分間の換気運転をおこない、その後自動停止します。換気運転中に「運転/停止」ボタンを押した場合は、通常の運転を優先します。

換気運転中は、「運転/停止」ボタンが点滅します。

④ 退出しドアを閉めます。ドアを閉めてから約15秒で蛍光灯が消灯します。



(2) フィルター付着粉塵の除去

フィルターに付着した粉塵を払い落とすため、約30回の運転毎に、圧縮空気を自動的にフィルターへ送り込み、フィルター付着粉塵を払い落とします。(換気運転中に作動します。)このときに「運転/停止」ボタンを押した場合は、通常の運転を優先します。

フィルターは定期的に交換をしてください。(1～2年毎)

(3) 注意事項

- ・ ドアを開けると照明が約15秒点灯します。この間に「運転/停止」ボタンを押さないと照明は自動的に消灯します。ただし、照明が消灯しても「運転/停止」ボタンを押すと、照明は点灯し、ジェットエアー吹出口から空気が発生します。
- ・ エアーシャワー室内で運転を開始して、ジェットエアー吹出口から空気が発生したまま退室した場合下記の通り自動停止します。

※1:運転中ドアを開けたまま退出……………約5分後に自動停止。

※2:運転中ドアを閉めて退出……………約3分後に自動停止し、その後約15秒で照明が自動消灯する。

◆ 運転モード 2

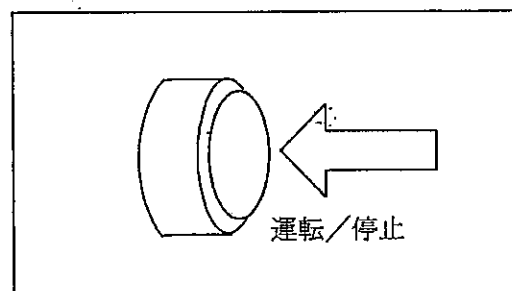
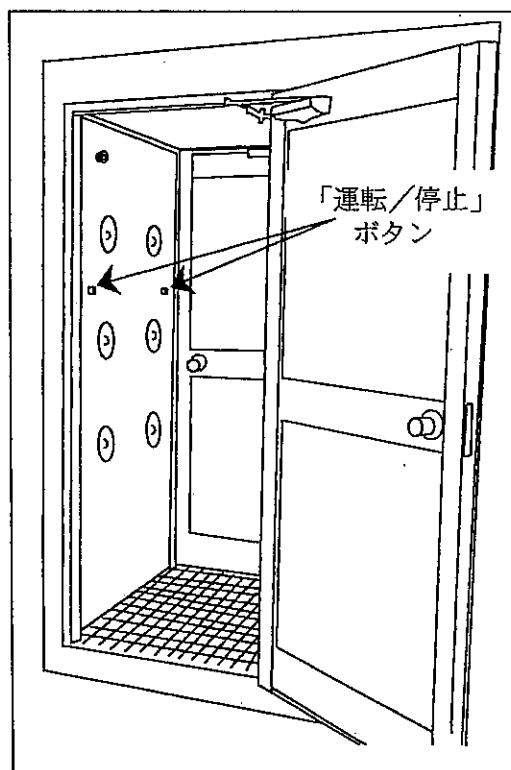
(1) 運転・停止

- ① ドアを開けると室内の蛍光灯が点灯します。エアーシャワー室に入り、ドアを閉めます。ジェットエアー吹出口から空気が発生します。安全のため2人以上同時にエアーシャワー室に入らないでください。
- ② 必要に応じてエアーガンを使い粉塵を払い落としてください。

- ③ 退出の際、ドアを開けると運転を停止します。このときシャワー室内に浮遊した粉塵を除去するために、本機はエアー吹き出し量を絞って3分間の換気運転をおこない、その後自動停止します。換気運転中に「運転/停止」ボタンを押した場合は、通常の運転を優先します。

換気運転中は、「運転/停止」ボタンが点滅します。

- ④ ドアを閉めてから約15秒で蛍光灯が消灯します。



(2) フィルター付着粉塵の除去

フィルターに付着した粉塵を払い落とすため、約30回の運転毎に、圧縮空気を自動的にフィルターへ送り込み、フィルター付着粉塵を払い落とします。(換気運転中に作動します。)このときに「運転/停止」ボタンを押した場合は、通常の運転を優先します。

フィルターは定期的に交換をしてください。(1～2年毎)

(3) 注意事項

- ・ ドアを開けると照明が点灯しますが、約15秒以内にドアを閉めないと、照明は自動消灯し、ドアを閉めてもジェットエアーの吹き出し(通常運転)はしません。ただし、下記の操作をすると通常運転します。

- ※1: ドアを開けている状態……………「運転/停止」ボタンを押すと照明が点灯し、ドアを閉めると通常運転を始める。
- ※2: ドアを閉めている状態……………「運転/停止」ボタンを押すと照明が点灯し、通常運転を始める。

- ・ ドアを開け、シャワー室に入室せずにドアを閉めた場合、ジェットエアーは吹き出し状態のままになりますが、約3分後に自動停止します。(照明も自動停止します。)
- ・ 1回の連続運転は約3分ですので、運転を継続する場合は、自動停止後に「運転/停止」ボタンを押してください。

◆ 運転モード 3

(1) 運転・停止

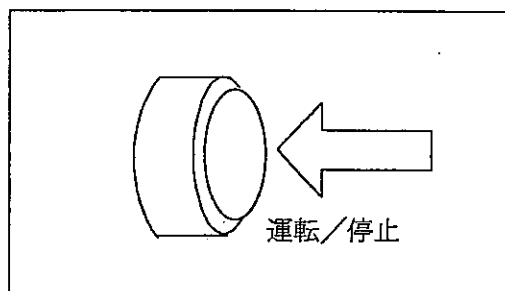
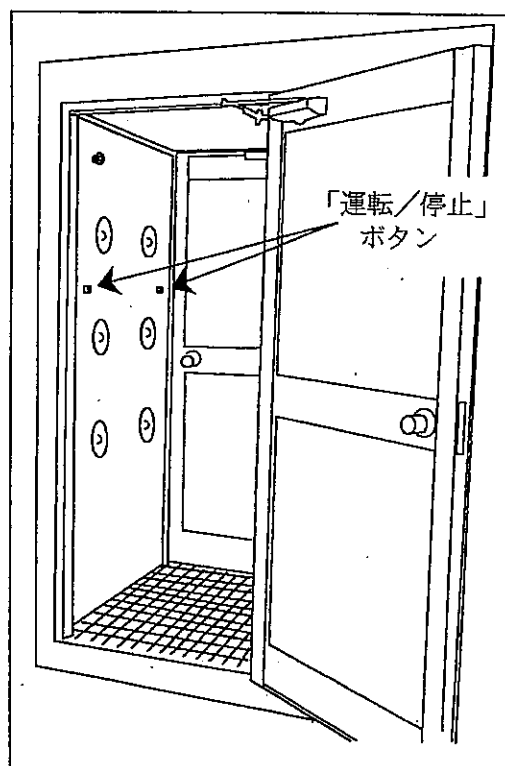
- ① ドアを開けて、エアーシャワー室に入り、ドアを閉めます。
安全のため2人以上同時にエアーシャワー室に入らないでください。

- ② 「運転/停止」ボタンを押すと、照明が点灯して、ジェットエアー吹出口から空気が発生します。必要に応じてエアーガンを使い粉塵を払い落としてください。

- ③ 「運転/停止」ボタンを押すと運転が停止して、その約15秒後に照明が消灯します。このときシャワー室内に浮遊した粉塵を除去するために、本機はエアー吹き出し量を絞って3分間の換気運転をおこない、その後自動停止します。換気運転中に「運転/停止」ボタンを押した場合は、通常の運転を優先します。

換気運転中は、「運転/停止」ボタンが点滅します。

- ④ 退出しドアを閉めます。



(2) フィルター付着粉塵の除去

フィルターに付着した粉塵を払い落とすため、約30回の運転毎に、圧縮空気を自動的にフィルターへ送り込み、フィルター付着粉塵を払い落とします。(換気運転中に作動します。) このとき「運転/停止」ボタンを押したときは、通常の運転を優先します。

フィルターは定期的に交換をしてください。(1～2年毎)

(3) 注意事項

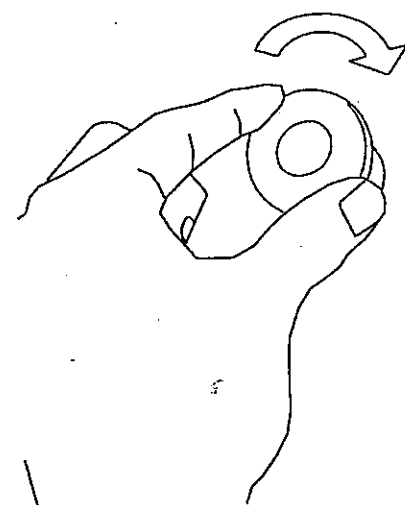
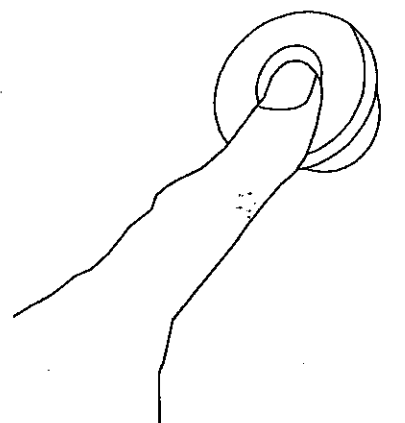
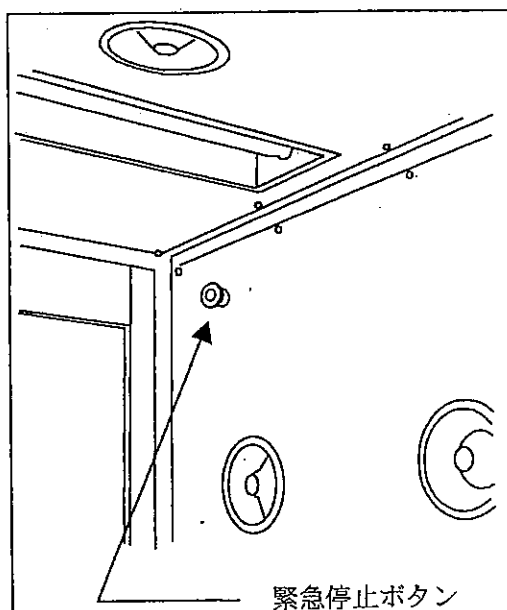
- ・ ドアを開け、「運転/停止」ボタンを押して、ジェットエアーが吹き出した状態のまま退出した場合は約3分後に自動停止します。(同時に照明も消灯します。)

◆緊急停止とリセット

運転中に異常が発生した場合や、周辺で非常事態が発生した場合は、緊急停止ボタンを押し込んで、運転を停止してください。このとき本機の運転は全停止します。

また本機は、モーターに過負荷がかかった場合、モーター保護のため運転を自動停止します。(リレーがトリップします。)運転を再開するときは、緊急停止ボタンを押し込んでから、時計方向にボタンを回して押し込まれたボタンを元に戻します。この時点で本機がリセットして運転を再開できます。

グレーチング(床のスノコ)に物を置かないでください。モーターに過負荷がかかる原因となります。

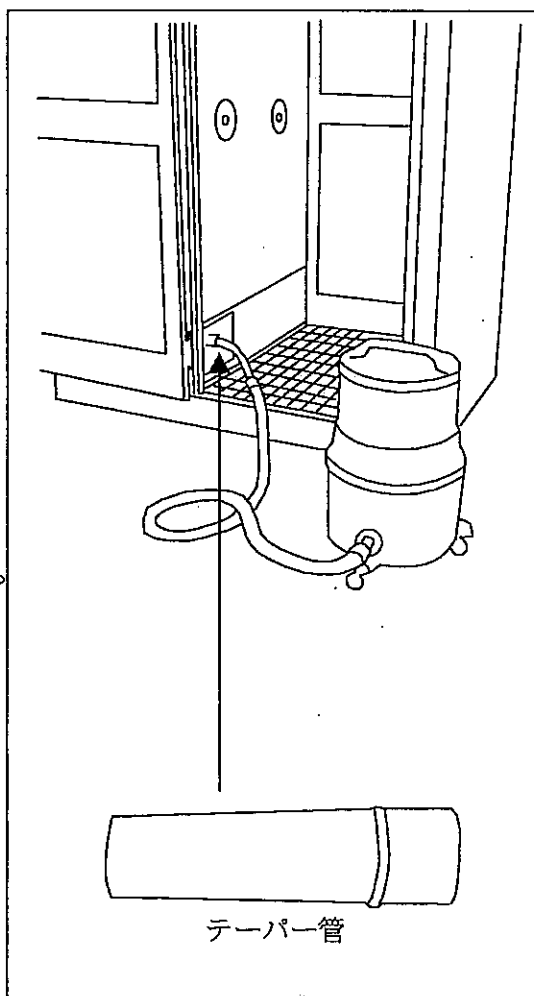
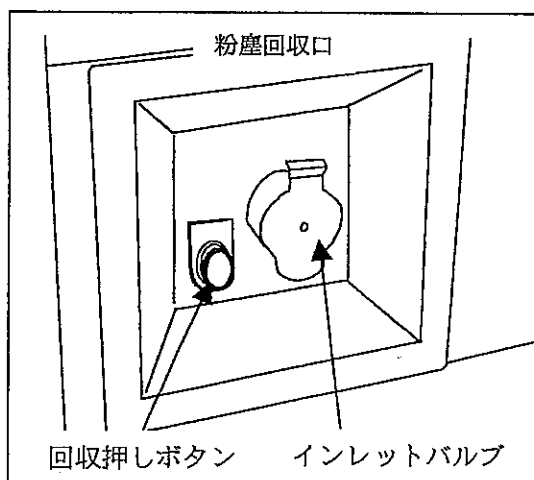


時計方向に回して解除

6. 粉塵の回収

本機に捕集した粉塵を、粉塵回収口に掃除機を接続して回収します。

- ① 運転を停止してください。
- ② インレットバルブを開けてください。
- ③ 粉塵回収口のインレットバルブと掃除機の上にテーパー管を付けて、掃除機を接続してください。テーパー管を接続しないと、粉塵回収時に粉塵が吹き出す場合があります。
- ④ 掃除機を運転してください。
- ⑤ 回収押しボタンを押してください。本機はエアーを絞った弱い運転を開始します。このとき、ホッパー内部で堆積して固まった粉塵を払い落とすためのエアーレーションが自動的に作動します。
- ⑥ 3分程度掃除機を運転して回収してください。
- ⑦ 再度回収押しボタンを押してください。エアーレーションが停止します。
(回収ボタンを押さなかった場合、約12分後に自動終了します。)
- ⑧ 掃除機の運転を停止してください。
- ⑨ 粉塵回収口のインレットバルブからテーパー管を取りはずしてください。



お願い

- ・ 粉塵の回収は、使用頻度によっても異なりますが、週1回以上 回収作業をおこなってください。
- ・ 床面・グレーチング部に堆積する粉塵については、掃除機で清掃してください。

7. 保守

◆カートリッジフィルターの交換

カートリッジフィルターは、定期的に（1～2年毎）交換してください。また、エアーの吹き出しが悪かったり、点検時に破れや損傷を見つけたときは、速やかに交換してください。交換をおこなう前に、以下の注意とお願いをお読みいただき理解してください。

⚠注意



注意



電源を切る

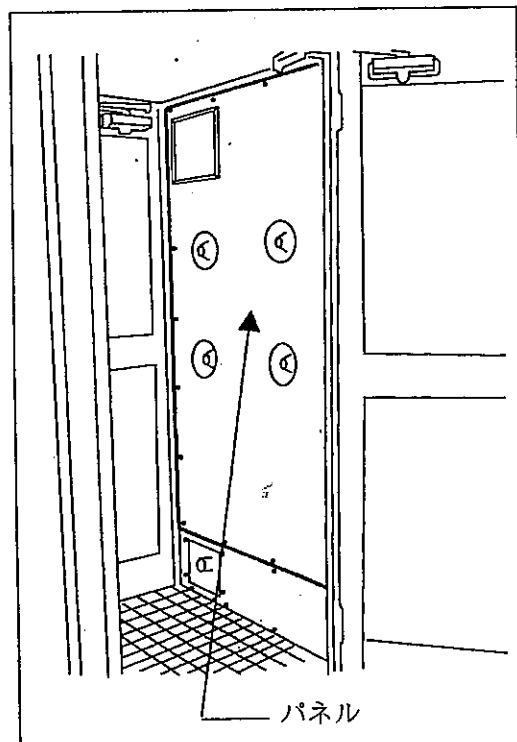
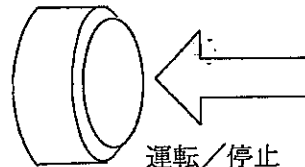
- ・点検やフィルター及び部品の交換の際は、手袋を使用のこと。
けがのおそれがあります。
- ・点検、メンテナンスをするときは、必ず本機電源供給元を切ること。
感電のおそれがあります。

⚠お願い

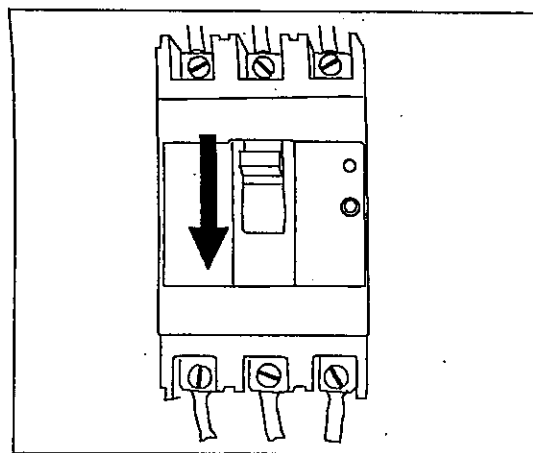
次の条件を守ってフィルター交換をしてください。守らない場合は、製品が故障したり、性能を発揮できなくなります。

- ・フィルターを取りはずして運転しないでください。
- ・フィルターは蝶ナットでしっかりと固定してください。
- ・フィルターは全数を同時に交換して、古いフィルターと混用しない様にしてください。フィルターの目詰まりが進行する場合があります。

- ① 運転中のときは、運転を停止して、電源供給元の電源（一次電源）を切ります。ファンの回転が停止したのを確認して、側面パネルのネジをはずして開けてください。

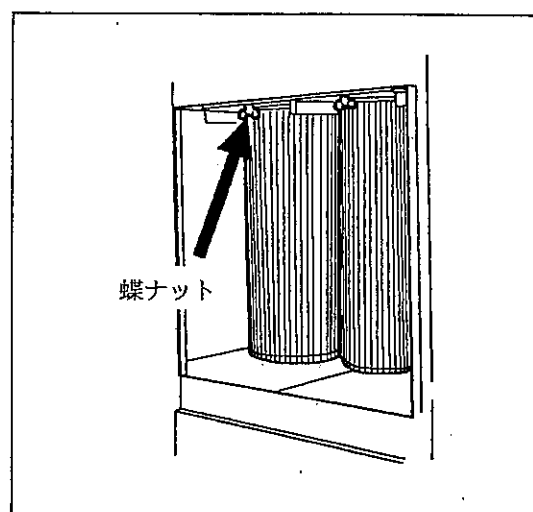


- ② 安全のため、ブレーカーを切ります。



- ③ フィルター点検蓋を固定しているノブスターボルトをはずし、点検蓋を開けます。

- ④ フィルター枠を固定している蝶ナットをはずし、フィルター枠を手前に取り出します。



- ⑤ フィルター枠から古いフィルターを取りはずして、新しいフィルターを取り付けます。

- ⑥ フィルター枠の蝶ナット用の穴が開いている方を手前（点検蓋側）にして、フィルター枠を奥の支えに引っ掛けます。

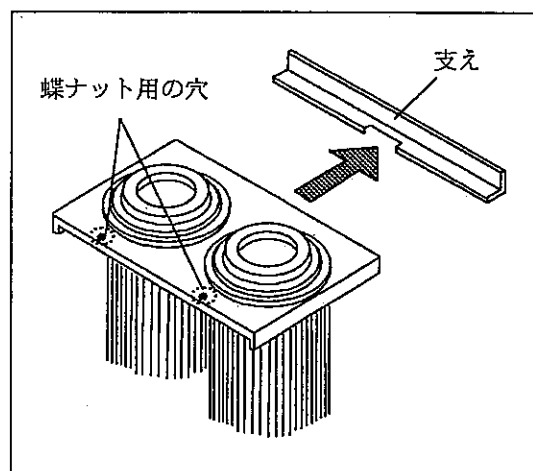
- ⑦ フィルター枠を蝶ナットでしっかり固定します。

- ⑧ 点検蓋を閉め、ノブスターボルトで固定します。

- ⑨ ブレーカーを入れます。

- ⑩ 側面のパネルを取付けます。

- ⑪ 電源供給元（一次電源）の電源を入れます。



◆H E P Aフィルター交換方法

H E P Aフィルターは、定期的に（3～4年毎）交換してください。また、エアーの吹き出しが悪かったり、点検時に破れや損傷を見つけたときは、速やかに交換してください。交換をおこなう前に、以下の注意をお読みいただき理解してください。

⚠注意



注意

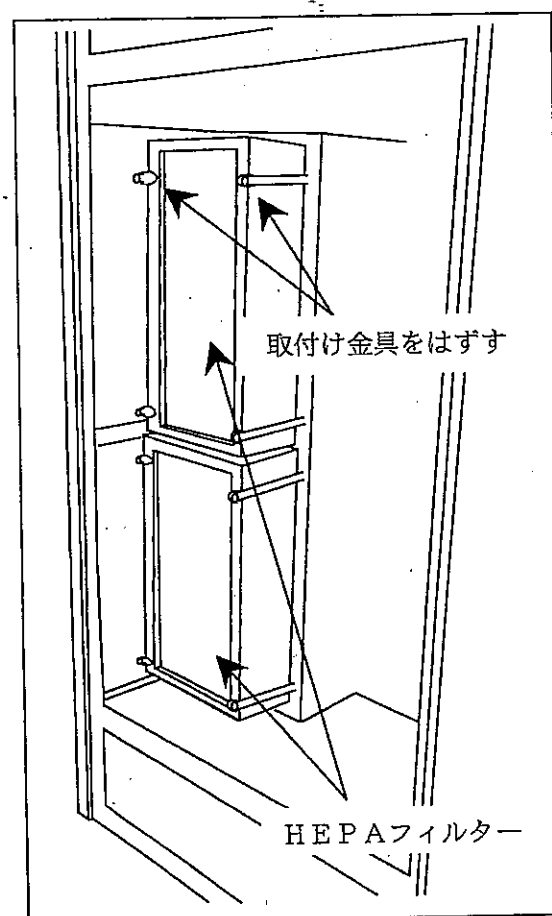
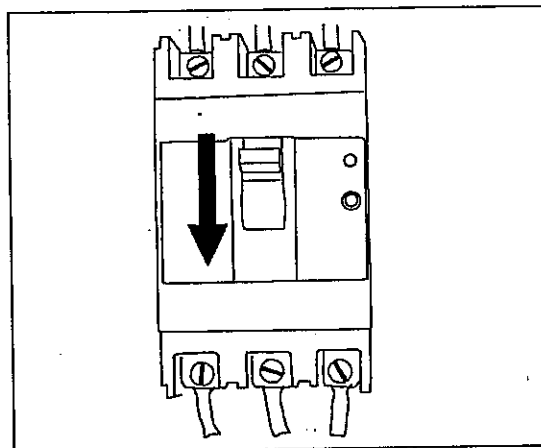


電源を切る

・点検やフィルター及び部品の交換の際は、手袋を使用のこと。
けがのおそれがあります。

・点検、メンテナンスをするときは、必ず本機電源供給元を切ること。
感電のおそれがあります。

- ① 運転中のときは、運転を停止して、電源供給元の電源を切ります。ファンの回転が停止したのを確認して、側面パネルのネジをはずして開けてください。
- ② 安全のため、本機内のブレーカーを切ります。
- ③ H E P Aフィルターを固定している取付け金具をはずして、H E P Aフィルターを取り出します。
- ④ 新しいH E P Aフィルターを取り付け、取付け金具で固定します。このときパッキンのついている方を奥に入れて取付けてください。
- ⑤ ブレーカーを入れます。
- ⑥ 側面パネルを取り付けます。



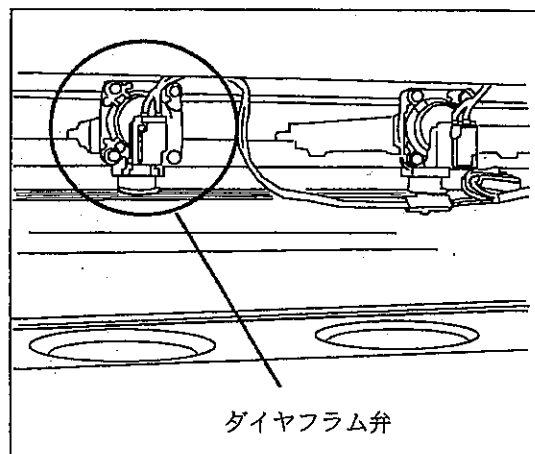
◆払い落とし部の保守

フィルター交換時にあわせてダイヤフラム弁のメンテナンスをおこなってください。

(1) ダイヤフラム弁（パイロット弁付き）のメンテナンス

運転を停止します。ファンが停止したのを確認します。点検蓋を固定しているボルトをはずして、点検蓋を開けてください。

- ダイヤフラム弁（パイロット弁付き）のメンテナンスは、年に1～2回程度おこなってください。
- ダイヤフラム弁のダイヤフラム（ゴム部分）は、1年に1回程度の定期交換をおすすめします。
- 詳しくは、お買い求めの販売店、または弊社支店・営業所までお問い合わせください。



8. 付録

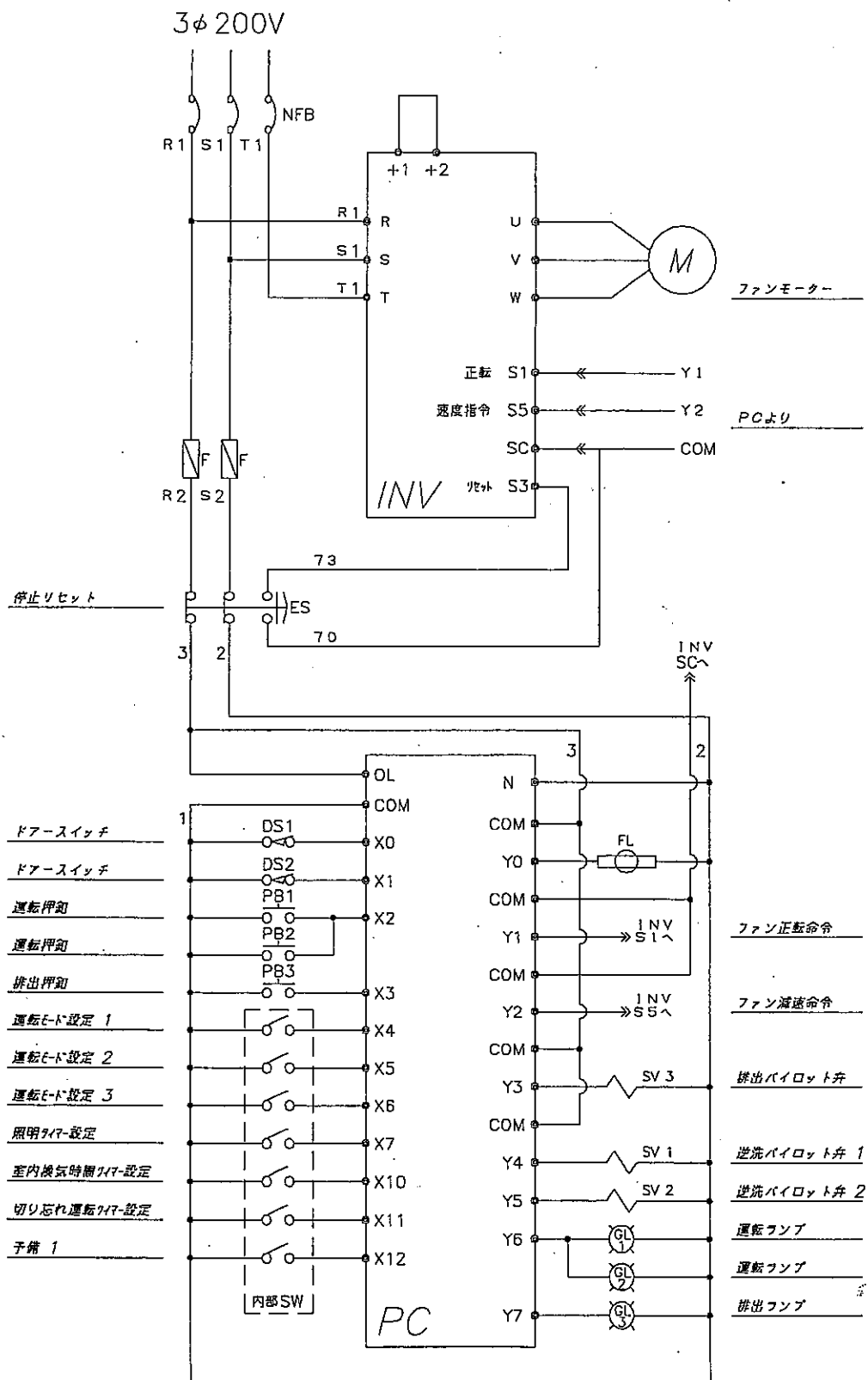
◆仕様表

形式		J S - 3 0
電源		3 相 200V 50/60Hz (220V 60Hz) 共用
出力 (kW)		1.5kW 2P
ファン		ターボファン
駆動方式		インバーター駆動
風量		20m ³ /min
カートリッジ フィルター	形状	樹脂成形カードリッジ
	材質	ポリエステルスパンボンド テフロンラミネート
	面積 (m ²)	9m ²
	本数	2 本
	捕集効率	99%以上 (重量法)
	払い落とし式	自動パルスジェット方式
	払い落とし エア圧力	0.3~0.7MPa
HEPA フィルター	寸法 (mm)	610×305×150
	数量	2 個
	捕集効率	0.3μmDOP にて 99.97%以上 (DOP テスト法)
ジェットノズル数		12 個
照明		20W 蛍光灯
排出方式		ダスト吸収式 (φ38mm ホース接続)
付属品		エアダストガン×1 テーパー管×2 (φ38mm×1 φ32mm×1)
大きさ 幅×奥行×高さ (mm)		1 5 0 0 × 1 0 0 0 × 2 3 0 6
質量 (kg)		4 7 5

◆消耗品

名称	部品番号	備考
カートリッジフィルター	DAS-200170	2本
HEPAフィルター	DAS-8105	2個
ダイヤフラム	CWE-1305	交換用ゴム部品

◆配線図



◆こんなときには

ご使用中に異常が生じたときは、安全のため、ただちに電源の供給を止めて点検をしてください。
それでも異常が解消できない場合は、ご自分で修理なさらずに弊社支店・営業所までご連絡ください。

現 象	原 因	対 策
エアーガンから空気が出ない。	・ 圧縮空気を接続していない。 ・ 圧縮空気を供給していない。	・ 圧縮空気を接続してください。 ・ 圧縮空気を供給してください。
運転を停止しても「運転／停止」ボタンが点滅して弱い運転をしている。	・ 室内に浮遊している粉塵を取り除くための換気運転をしている。	・ 異常ではありません。換気運転を約3分間行い、その後自動停止します。
室内の蛍光灯が消えた。	・ 蛍光灯が切れた。 ・ 運転モードによる自動消灯。	・ 蛍光灯を交換してください。 ・ 異常ではありません。「5. 運転」を参照ください。
粉塵回収時に粉塵が吹き出した。	・ テーパー管を粉塵回収口のインレットバルブに接続していない。	・ テーパー管を接続してください。
粉塵回収量が少なすぎる。	・ 粉塵回収時に、回収押しボタンを押さなかったため、ホッパーに堆積して固まった粉塵を払い落とすエアレーションが作動しなかった。	・ 回収押しボタンを押す。
「運転／停止」ボタンを押しても始動しない。	・ 電源コードの断線。 ・ 電源が供給されていない。 ・ 停電している。 ・ ブレーカーを切っている。	・ 電源コードを交換する。 ・ 電源供給元を点検する。 ・ 復電するまで待つ。 ・ ブレーカーを入れる。
ブーンとぶなる音がする。	・ 電源コードの断線により、単相運転をしている。	・ 電源コードを交換する。
運転中に突然停止した。	・ 電源電圧が低下してサーマルリレーが作動した。 ・ 停電している。 ・ 保護タイマーが作動した。	・ 電源電圧を安定させる。 ・ 復電するまで待つ。 ・ 再度「運転／停止」ボタンを押す。
吸引力が弱い。	・ パルスジェットの動作不良により、フィルターが目詰まりした。 ・ 点検蓋が開いている。 ・ フィルターの目詰まり。 ・ ホッパー内の粉塵がいっぱいになっている。 ・ 指定された電圧未満の電圧が電源から供給されている。	・ 圧縮エアーを既定値で供給する。 ・ 点検蓋を閉める。 ・ フィルターを交換する。 ・ 掃除機で粉塵を回収する。 ・ 指定された電源電圧であるか確認する。
振動、異音、異臭がする。	・ モーター、ファンの異常。	・ 電源を切り、点検をする。

◆アフターサービスと保証

■ 使用中異常が生じたとき

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みのうえで点検していただき、回復しない場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店または弊社支店・営業所にご相談ください。

■ 保証について

- ・この製品は保証書付きです。
- ・保証書は販売店で所定事項を記入してお渡しします。記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
- ・保証期間はお買い上げの日から1年間です。なお、保証期間中でも有料修理になることもありますので保証書をよくお読みください。
- ・保証期間経過後の修理については、販売店または弊社支店・営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様の希望により有料修理いたします。
- ・不明な点はお買い求めの販売店または弊社支店・営業所にお問い合わせください。

■ 部品の保有期間について

集塵機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後、6年です。

(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。)

性能を維持し、長く安全にご使用いただくために、交換部品はアmano純正部品をご使用ください。



アマノ株式会社

本社/〒222-8558 横浜市港北区大豆戸町 275 番地

TEL.(045)401-1441(代表) FAX.(045)439-1150

<http://www.amano.co.jp/>

TIME & ECOLOGY
AMANO

タイム情報システム事業

- 就業情報ターミナル装置
- 就業情報システム
- 給与計算/人事情報システム
- 食堂情報/入室情報システム 他

エコロジー事業

- 生ゴミ減量処理装置
- 電解水除菌/洗浄システム
- オゾン脱臭/除菌システム
- 高温有害ガス除去システム 他

ヘルスケア商品事業

- 介護リフト用吊り具
- 移動移乗・体位変換シート/移乗ボード
- 移動介助車/介護クッション
- その他の介護補助用品

タイムマネジメント商品事業

- タイムカード集計ソフト[Time P@CK]
- インターネット給与計算サービス
- 電子タイムレコーダー/集計タイムレコーダー
- タイムスタンプ/ナンバリングマシン 他

環境事業

- 産業用掃除機
- 汎用電子集塵装置
- ヒューム/オイルミストコレクター
- 大型/中型集塵/脱臭システム
- 粉粒体空気輸送システム/テストプラント
- 環境分析システム 他

パーキング事業

- 自動料金精算システム
- 集中管理システム/駐車場管理ソフト
- 車両認識システム/場内管制システム
- インターネット駐車場情報サービス 他

クリーンシステム事業

- 業務用掃除機
- 自走式清掃機
- 自動床面洗浄機
- 高速バフリングマシン
- ドライケアフロアクリンリネシステム
- 清掃ケミカル用品・清掃用品 他